

会議顛末書

						記 録 者		鈴木純司	
供 覧	教 育 長	部 長	次 長	課 長	課 補	長 佐	主 係	査 長	グループ員
件 名		令和 6 年度 第 2 回 歴史民俗資料館運営審議会議事録							
年 月 日		令和 7 年 1 月 24 日(金) 午前10時 00 分～午前 11 時 00 分							
時 間		午前 10 時から午前 11 時まで							
場 所		龍ヶ崎市歴史民俗資料館 2 階 多目的							
出 席 者		【委 員】酒入委員長、堤副委員長、雑賀委員、秋山委員、由波委員、 佐藤委員、沼田委員 【事務局】大古教育長、松崎課長、清水課長補佐、油原課長補佐、由利係長、 飯野主幹、鈴木主幹(記録者)							
内 容		1 開 会 2 教育長あいさつ 3 委員紹介 4 事務局紹介 5 議長選出 6 議長あいさつ 7 議 事 ・議案第1号 令和7年度歴史民俗資料館事業計画(案)について 8 閉 会							
会 議 録 署 名 人		秋山委員							
傍 聴 人 数		無							
情 報 公 開		公 開	非公開(一部非公開を含む)とする理由					(龍ヶ崎市情報公開条例第9条号該当)	
		部分公開							
		非 公 開	公開が可能となる時期(可能な範囲で記入)					令和 年 月 日	

発言者	発言内容
事務局 (油原)	(開会)
教育長	(あいさつ)
事務局 (油原)	(委員の紹介) (事務局紹介) (議長選出) 歴史民俗資料館設置管理条例施行規則第16条に「委員長は会議の議長となる」とありますので、この後の議事進行を酒入委員長にお願いいたします。
議長	(あいさつ) 本日の審議会は10名中7名の委員が出席しており、過半数を満たしておりますので、会議が成立いたしますことを確認させていただきます。 なお、議事録署名人として私のほかに秋山委員を指名させていただきます。
委員	(各委員「異議なし」)
議長	議案第1号「令和7年度歴史民俗資料館事業計画(案)について」事務局の説明をお願いします。
事務局 (油原)	(資料に基づき説明)
議長	ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。
堤委員	4ページの郷土作家展につきまして、今回は中原先生作品を展示するということで、この方は県内でもレベルが高い方ですので、うれしく思っています。そこで中原先生も忙しいかとは思いますが、展示期間中ご本人によるギャラリートークを行って、作品の説明や質問に答えてもらえば、来館者の興味も増すと思います。ご検討をよろしくお願いします。
事務局(油原)	昨日、市内の市民ギャラリーで中原先生とお会いした際に、この郷土作家展の話になりまして、ギャラリートークも行いたいという申し出を受けております。実施する予定でおります。
議長	ギャラリートークも行っていたらということで、より充実した展示となると思います。他にございませんか。
秋山委員	7ページの職場体験につきまして、市内の中学校5校のうち3校の体験を受け入れて頂いたということで、来年度はぜひ市内のすべての中学校で行って欲しいと考えています。私たちも働きかけていきたいと思っています。 前回の審議会でも、木村安兵衛について偉人マンガを刊行したという報告がありました。ついては先月、川原代小学校で行われた木村安兵衛に関する授業に私も参加してきました。児童たちが安兵衛について、詳しく調べて発表をしていました。困難にあってもあきらめなかったという意味で道徳的な面もありますし、地元の偉人を知ることで郷土愛を高める効果もあります。今後、川原代だけでなく市内全小学校に広がって行けば良いと考えています。資料館の方でも安兵衛の資料を集めて、郷土の偉人コーナーを作れば、子どもたちも来てくれると思いますがいかがでしょう。

事務局(油原)	お話のありました川原代小学校の授業につきましては、実は事前に担当の先生が当館にいらっしやいまして、資料などを見せて欲しいという話がありましたので、色々と協力させていただきました。また、子どもたち対象では無いですが、今年度3月に川原代に残る木村安兵衛及び木村家にまつわる史跡を歴史散歩の中で案内するつもりです。このような形で偉人マンガを利用していきたいと考えています。 木村安兵衛については、地元を離れて東京で活躍した人なので、地元にはほとんど資料が残っていません。偉人マンガの担当者とも相談をして、東京の木村屋本店から資料を借りられないかなども検討しましたが、難しいと考えています。今後いろいろと検討していきたいと考えています。
議長	ありがとうございます。こういったことをきっかけに、今後も継続して検討していただきたいと思います。
沼田委員	資料館では様々な講演会や講座を行っていて、好評を得ているようです。私の周りでも仕事をリタイアした人たちが勉強を始めている例が多く、そういう人を受け入れる場所になっているようです。これらの講演会や講座の先生をどのように選んでいるのでしょうか。また広く探す工夫はされているのでしょうか。
事務局(油原)	講師の人選については、人的ネットワークで探しています。本当は県立歴史館の先生とか、広く探したいところですが予算が少ないため、難しい状況です。来年度の予定の中でも①及び②については無償で行っていただける方をお願いしており、③だけが有償となっています。 県立歴史館の講師派遣事業など、講師を広く探していますので、委員の皆様もよい方がいらっしやいましたらご紹介いただければと思います。実際には、予算が少ないので年に一回くらいになっているのが現状です。
議長	予算の関係で、有償の講師が一名、あとは無償の方をお願いしているということですね。あと沼田委員のお話は、単に学びの場所作りということであれば、講師の方は専門的な知識を問わない、ということかどうかはわかりませんが、資料館から要望があれば、講師を紹介することができますよ、ということでしょうか。
沼田委員	講師というよりも、生涯学習したいという要望のある人に応えるような予算については、資料館だけでなく、市の文化・生涯学習課には無いのかな、という意見です。
議長	ありがとうございます。本日は教育委員会の方もいらっしやっておりますので、資料館でやるかどうかは別としまして、そういう要望がある、ということですね。
事務局(油原)	講演会ではないのですが、資料館では初級と上級の古文書講座を行っています。古文書というと難しそうに感じますが、要は日本語であり、漢字で書かれています。読めなくとも漢字や当時の農民の生活などの解説を聞くだけでも勉強になると思いますので、ご紹介いただければ、自主学習をしたいという方の一助となると思います。
議長	講演会だけでなく、そういうものも利用して欲しいということですね。 議長から失礼します。古文書講座は勉強された方が次の講師になるということで、循環型の生涯学習ができているという点が龍ヶ崎の強みですので、ぜひ利用していただきたいと思います。
由波委員	「博学連携(博物館と学校との連携)」という点で、小中学生にも刺さる企画を実施されて

	いて、そこは我々も支援していきたいと思います。特に来年度はタイムリーな企画として、科学万博40周年や戦後80年ということで太平洋戦争資料展を企画されています。 特に歴史民俗資料館では、市と共同で平和推進事業を行っています。より踏み込んだ内容の太平洋戦争資料展を行っていただけるというのは、現在の世界情勢からも平和の大切さを伝えるという意味で、大変価値のある企画だと思います。そこで提案です。実際の戦争経験者によるギャラリートークはいかがでしょう。もちろん戦争経験者も高齢化していて難しいとは思いますが、できれば体験者の生の声を来館者に伝える。そうでなければ展示内容の簡単なリーフレットあるいはパンフレットを配布して、来館者の手元に長く置いてもらうようにしたら良いと思います。 また、歴史というのは耳学問だけでなく、実際に歩いて肌で感じて学んでいくことが重要なので、市内の戦跡をめぐるためのマップも作った方が良いと思います。 以上展示会がより発展するための提案です。
事務局(油原)	ご意見ありがとうございます。先日も小美玉市の施設から3月に戦争体験者が語り部となるイベントがあると案内が届いております。また、東京九段下の昭和記念館にも語り部の方がいらっしゃいますのでそういう方たちを呼べないかなと考えております。また、戦争の史跡についてですが、例えば馴染小学校に大きな石碑があり、そこには機銃掃射の実弾が当たった10センチくらいの跡が残っています。そういった所を紹介しながら実施していきたいと思っています。
雑賀委員	こちらの戦争資料展は8月に開催する予定ということですが、小学校で戦争を学ぶのが今、大体2月くらいなので、その時期に合わせられないでしょうか。8月だと歴史の授業が江戸時代末期くらいなので、2月くらいに戦争について学んだところで合わせたほうが学習効果が大きく期待できると思っています。
事務局(油原)	この時期に行われる収蔵品展と重複しますので、内部で検討させていただきます。
佐藤委員	一つお聞きしたいのですが、こちらの施設はオープンしてどれくらいですか。
事務局(油原)	平成2年(1990)にオープンしています。
佐藤委員	近隣の市町村でも、毎年これだけの企画展示を実施している資料館はありません。私は月に2、3回こちらに来ていますが、いつも職員が勉強したり作業をしている様子を見ています。職員の努力には私は敬服しています。平成2年に開館して以来、入館者の数字の増減はともかく、それだけの期間地域の生涯学習の場として存続しています。これからも職員の方の努力で存続していった欲しいと思います。期待しております。
議長	貴重なご意見ありがとうございます。資料館の運営も何もせずに続いているわけではありません。市の予算と職員の努力とあって成り立っているというご指摘だと思います。資料館が存続していくにあたって、皆さんの協力や、職員の努力、そして資料館の仕事は誰でもできるというものではないので、市の人員配置が必要となっていくということです。 それでは他にご意見などございますか。
事務局(油原)	事務局の方から失礼します。前回由波委員からご質問のありました収蔵品の増減についてです。ここ3年間で、民俗資料が324点、文書資料が182点、芸術関係が79点など合計588点の寄贈などを受けています。大半が古文書などのペーパー類でした。収蔵スペース

	につきましては、この後に見学する時間を設けてございますので、ぜひ皆さまご覧ください。 また、前回秋山委員からご意見をいただきました小中学校へのメールによる情報発信の件です。現在、企画展示室で行っている収蔵品展「昔の遊びと学校」を発信する予定で進めています。
議長	ありがとうございます。それでは他にご意見、ご質問などございませんか。無いようですので、令和7年度事業計画について、みなさまご承認ということでよろしいでしょうか。
各議員	(異議なし)
議長	議案第1号の令和7年度歴史民俗資料館事業計画(案)について、みなさまご承認いただきましたので、事務局の皆様には他にもたくさんの行事がありますが、今日出たご意見を参考にしながら、事業を遂行していただきたいと思います。 以上をもちまして、令和6年度第2回龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会を閉会したいと思います。皆さんご協力ありがとうございました。 本日の議案は以上です。議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。
	令和7年1月24日に開催された会議の内容については、上記のとおり相違ありません。 令和 年 月 日 議事録署名人 議事録署名人